

JICA 環境社会配慮助言委員会 第 103 回全体会合

2019 年 7 月 1 日（月）14:00～17:00

JICA 本部 1 階 111・112 連結会議室

議事次第

1. 開会

2. WG スケジュール確認

3. モニタリング段階の報告

- (1) モニタリング段階にある案件の進捗報告
- (2) 環境社会配慮モニタリング結果に関するバックナンバー公開について

4. その他

- (1) 「スコーピングマトリックスの記載方法」について
- (2) 環境 GL レビュー調査における最終報告書案に基づくご報告

5. 今後の会合スケジュール確認他

- ・ 次回全体会合（第 104 回）：2019 年 8 月 5 日（月）14:00 から（於：JICA 本部）

6. 閉会

以上

モニタリング段階にある 案件の進捗について

2019年7月1日

JICA審査部 環境社会配慮監理課

実施中のカテゴリA案件リスト①

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の対 象期間
1	ベトナム	南北高速道路建設事業(ベンルックーロンタイン間) (I)	円借款	2011/11/2	事業実施中	<u>2018年</u> <u>第4四半期</u>
2	エジプト	カイロ地下鉄四号線第一期整備事業	円借款	2012/3/19	調達手続中(施工)	—
3	インド	デリー高速輸送システム建設事業 フェーズ3(I)	円借款	2012/3/29	供用中	<u>2019年</u> <u>第1四半期</u>
4	フィリピン	パッシグーマリキナ川河川改修事業(Ⅲ)	円借款	2012/3/30	<u>供用中</u>	NA
5	フィリピン	中部ルソン接続高速道路建設事業	円借款	2012/3/30	事業実施中	<u>2019年</u> <u>第1四半期</u>

実施中のカテゴリA案件リスト②

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
6	バヌアツ	ポートビラ港ラペタ シ国際多目的埠頭 整備事業	円借款	2012/6/13	供用中	2018年 第4四半期
7	バングラデ シュ	ダッカ都市交通整 備事業(Ⅰ)	円借款	2013/2/20	事業実施 中	NA
8	バングラデ シュ	カチプール、メグナ、 グムティ第2橋建設 及び既存橋改修事 業	円借款	2013/3/10	事業実施 中	NA
9	フィリピン	新ボホール空港建 設及び持続可能型 環境保全事業	円借款	2013/3/27	供用中	2017年 第4四半期
10	カンボジア	国道5号線改修事 業(バットンバン ーシソポン間)	円借款	2013/5/16	事業実施 中	2019年 第1四半期

実施中のカテゴリA案件リスト③

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書締結日	進捗 ※1	モニタリング結果の 対象期間
11	ウズベキスタン	ナボイ火力発電所近代化事業	円借款	2013/8/22	事業実施中	NA
12	インド	ムンバイメトロ3号線建設事業	円借款	2013/9/17	事業実施中	<u>2019年 第1四半期</u>
13	モザンビーク	マンディンバーリシンガ間道路改善事業	円借款	2013/11/29	事業実施中	2018年 第4四半期
14	ベトナム	ハノイ市環状3号線整備事業(マイジックータンロン南間)	円借款	2013/12/24	事業実施中	<u>2019年 第1四半期</u>
15	スリランカ	ケラニ河新橋建設事業	円借款	2014/3/28	事業実施中	NA

実施中のカテゴリA案件リスト④

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
16	インド	デリー高速輸送シ ステム建設事業 フェーズ3(Ⅱ)	円借款	2014/3/31	供用中	No. 3参照
17	ミャンマー	ティラワ経済特別 区(Class A区域) 開発事業	海外投融 資	2014/4/23	供用中	2019年 第2四半期
18	バングラデ シュ	マタバリ超々臨界 圧石炭火力発電 事業(Ⅰ)	円借款	2014/6/16	事業実施 中	NA
19	カンボジア	国道5号線改修事 業(プレッククダム ースレアマアム間 (Ⅰ))	円借款	2014/7/10	調達手続 中(施工)	2019年 第1四半期
20	チュニジア	ラデス・コンバイン ド・サイクル発電 施設建設事業	円借款	2014/7/17	事業実施 中	2019年 第1四半期

実施中のカテゴリA案件リスト⑤

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
21	コスタリカ	グアナカステ地熱 開発セクターロー ン(ラス・パイラス II)	円借款	2014/8/18	事業実施 中	2019年 第1四半期
22	エルサルバ ドル	サンミゲル市バイ パス建設事業	円借款	2014/8/20	詳細設計 中	—
23	ウズベキスタ ン	トゥラクルガン火 力発電所建設事 業	円借款	2014/11/10	事業実施 中	2018年 第3四半期
24	フィリピン	洪水リスク管理事 業(カガヤン・デ・ オロ川)	円借款	2015/3/26	詳細設計 中	—
25	カメルーン	バチエンガーレナ 間道路整備事業	円借款	2015/3/28	事業実施 中	—

実施中のカテゴリA案件リスト⑥

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
26	カンボジア	国道5号線改修事業中央区間(スレアマアムーバッターバン間及びシソポナーポイペト間)(第一期)	円借款	2015/3/30	<u>調達手続中(施工)</u>	—
27	インド	レンガリ灌漑事業(フェーズ2)	円借款	2015/3/30	事業実施中	<u>2018年</u> <u>第4四半期</u>
28	ベトナム	南北高速道路建設事業(ベンルックーロンタイン間)(II)	円借款	2015/3/31	事業実施中	No. 1参照
29	ウクライナ	ボルトニッチ下水処理場改修事業	円借款	2015/6/15	<u>調達手続中(施工)</u>	—
30	バヌアツ	ポートビラ港ラペタシ国際多目的埠頭整備事業(II)	円借款	2015/7/29	<u>供用中</u>	No. 6参照

実施中のカテゴリA案件リスト⑦

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
31	フィリピン	南北通勤線鉄道事業(マロロス-ツツバン)	円借款	2015/11/27	詳細設計中	—
32	タンザニア	ケニア・タンザニア 連系送電線事業	円借款	2016/1/15	事業実施中	NA
33	インド	アーメダバード・メ トロ事業(第一期)	円借款	2016/3/4	事業実施中	NA
34	ケニア	オルカリアV地熱 発電事業	円借款	2016/3/9	事業実施中	<u>2019年</u> <u>第1四半期</u>
35	カンボジア	国道5号線改修事業(プレッククダム-スレアマアム間) (第二期)	円借款	2016/3/31	調達手続中(施工)	No. 19参照

実施中のカテゴリA案件リスト⑧

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリ ング結果の 対象期間
36	コスタリカ	グアナカステ地熱開 発セクターローン(ボ リンケンI)	円借款	2017/6/20	事業実施 中	<u>2019年</u> <u>第1四半期</u>
37	バングラ デシュ	ダッカ都市交通整備 事業(Ⅱ)	円借款	2016/6/29	事業実施 中	NA No. 7参照
38	バングラ デシュ	マタバリ超々臨界圧 石炭火力発電事業 (Ⅱ)	円借款	2016/6/29	事業実施 中	NA No. 18参照
39	カンボジア	国道5号線改修事 業(バットンバンーシ ソポン間)(第二期)	円借款	2017/3/30	事業実施 中	No. 10参照
40	インド	北東州道路網連結 性改善事業(フェー ズ1)(第一期)	円借款	2017/3/31	調達手続 中(施工)	—

実施中のカテゴリA案件リスト⑨

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書締結日	進捗 ※1	モニタリング結果の対象期間
41	バングラデシュ	カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設及び既存橋改修事業Ⅱ	円借款	2017/6/29	事業実施中	NA No. 8参照
42	バングラデシュ	マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業(Ⅲ)	円借款	2017/6/29	事業実施中	NA No. 18参照
43	ベトナム	ベンチェ省水管理事業	円借款	2017/7/19	調達手続き中(コンサルタント)	—
44	ミャンマー	ティラワ経済特別区(Zone B区域フェーズ1)開発事業(融資)	海外投融資	2017/8/14	事業実施中	2019年 第1四半期
45	インド	ムンバイ湾横断道路建設事業	円借款	2017/3/31	事業実施中	2018年 第3四半期

実施中のカテゴリA案件リスト⑩

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリ ング結果の 対象期間
46	カメルーン	ヤウンデーブラザ ビル国際回廊整備 事業(ミントムーレ 間)	円借款	2017/5/30	事業実施 中	—
47	バングラデ シュ	ジャムナ鉄道専用 橋建設事業(第一 期)	円借款	2018/6/14	調達手続 き中(施 工)	—
48	バングラデ シュ	ダッカ都市交通整 備事業 (III)	円借款	2018/6/14	事業実施 中	<u>NA</u> <u>No.7参照</u>
49	バングラデ シュ	マタバリ超々臨界 圧石炭火力発電事 業 (IV)	円借款	2018/6/14	事業実施 中	<u>NA</u> <u>No. 18参照</u>

実施中のカテゴリA案件リスト⑪

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリ ング結果の 対象期間
50	インド	グジャラートアラン ソシヤ地区シップリ サイクル環境管理 改善事業	円借款	2017/9/15	調達手続 き中(コン サルタン ト)	—
51	インド	北東州道路網連結 性改善事業(フェー ズ2)	円借款	2018/3/29	調達手続 き中(施 工)	No. 40参照
52	インド	ムンバイ・アーメダ バード間高速鉄道 建設事業(第一期)	円借款	2018/9/28	詳細設計 中	—
53	フィリピン	新ボホール空港建 設及び持続可能型 環境保全事業(第 二期)	円借款	2018/10/8	供用中	No. 9参照

実施中のカテゴリA案件リスト⑫

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
54	インドネシア	ジャカルタ都市高 速鉄道事業(フェー ズ2)(第一期)	円借款	2018/10/24	調達手続 き中(施 工)	NA
55	インド	北東州道路網連結 性改善事業(フェー ズ3)(第一期)	円借款	2018/10/29	調達手続 き中(施 工)	No. 40参照
56	インド	ムンバイ・アーメダ バード間高速鉄道 建設事業(第二期)	円借款	2018/10/29	詳細設計 中	No. 52参照
57	インド	トゥルガ揚水発電 所建設事業(第一 期)	円借款	2018/11/2	調達手続 き中(コン サルタン ト)	—

実施中のカテゴリA案件リスト⑬

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
58	ウガンダ	アタリ流域地域灌 漑施設整備事業	無償	2018/11/6	詳細設計 中	－
59	インド	チェンナイ地下鉄 建設事業(フェーズ 2)(第一期)	円借款	2018/12/21	調達手続き 中(コンサ ルタント)	－
60	インド	チェンナイ周辺環 状道路建設事業 (フェーズ1)	円借款	2019/1/18	詳細設計 中	－
61	フィリピン	パッシング・マリキナ 川河川改修事業 (フェーズIV)	円借款	2019/1/21	調達手続き 中(コンサ ルタント)	－

実施中のカテゴリA案件リスト①④

No.	国名	案件名	スキーム	合意文書 締結日	進捗 ※1	モニタリン グ結果の 対象期間
62	フィリピン	南北通勤鉄道延伸 事業(第一期)	円借款	2019/1/21	調達手続 き中(コン サルタン ト)	—
63	スリランカ	コロンボ都市交通 システム整備事業	円借款	2019/3/11	詳細設計 中	—

実施中のカテゴリA案件リスト 注釈

※全体会合での前回の説明(2019年1月11日)以降、本リストに追加された案件は、No.49～No.63の16案件です。

※1:進捗は以下の4段階で表示:①調達手続中(コンサルタント)→②詳細設計中→③調達手続中(施工)→④事業実施中→⑤供用中。下線を引いている案件は、前回の報告から段階の進捗があったもの。

注:表中の色分けについて

-  :EIAとRAPモニタリング結果のJICA公開について相手国政府等の合意が得られず
-  :RAPモニタリング結果のJICA公開について相手国政府等の合意が得られず

JICAウェブサイト情報公開ページアドレス:

http://www.jica.go.jp/english/our_work/social_environmental/id/index.html

環境社会配慮モニタリング結果に関する バックナンバーの公開について

2019年7月1日

審査部 環境社会配慮監理課

環境社会配慮モニタリング結果に関する バックナンバーの公開について

1. 背景

- これまでは、モニタリング結果が提出された後、JICAホームページ上に公開済みのモニタリング結果を新しいものと差し替える形で掲載。過去のモニタリングレポートは、公開していない。
- 助言委員会全体会合において、できるだけ過去のモニタリング結果も全て掲載をするという方向で検討願いたい旨の意見が出された。

2. 対応方針

- 今後、新しいモニタリング結果をホームページ上に公開する際には、公開済みのモニタリング結果を削除せず、個別案件のページに掲載し続けることで、常時閲覧できるようにする。
- 過去にさかのぼってモニタリング結果を改めて公開し直すことは控える。

バックナンバーの公開方法(地域別一覧ページ)

JICAホームページのGL適用案件の情報公開サイトにバックナンバー公開欄を設ける。

Types of Assistance

Partnerships with Other Development Partners

Environmental and Social Considerations

Evaluations

Compliance and Anti-corruption

Southeast Asia

Projects classified as Category A, B, or FI

注釈を追加

Please click on “Project Name” to view Past Results of Monitoring.

Please click on “Project Name” to view Past Results of Monitoring.

Cambodia

Project Name	Scheme	Category	Report	EIA, EPC, RAP, IPP	Result of Review	Latest Result of Monitoring
The Project for the Study on Strengthening Competitiveness and Development of Sihanoukville Port	TCDP	A	Final Report (July, 2012) (PDF/4.61MB) M/M (Feb. 2011) (PDF/0.25MB) Environmental and Social Considerations in Detailed Planning Survey (PDF/0.62MB) (PDF/817KB)	-	-	-
National Road No.5 Improvement Project (Battambang-Sri Sophorn Section)	L	A	-	EIA (Oct. 15, 2012) (PDF/10.3MB) RAP (Oct. 10, 2012) (PDF/21.7MB) (PDF/21.7MB)	Environmental Review (PDF/81KB)	Result of Monitoring (PDF/235KB)

ページへ
の
スライドへ

注釈を追加
Please click on "Project Name" to view Past Results of Monitoring.

項目名を
"Latest Result of Monitoring" に変更

詳細ページへ
(次のスライド参照)

最新版は
これまで
どおり
ここから
閲覧

バックナンバーの公開方法(詳細ページ)



Information Disclosure under new Guidelines

Projects classified as Category A, B, or FI

National Road No.5 Improvement Project (Battambang-Sri Sophorn Section)

Country, Site	Kingdom of Cambodia, Battambang Province and
Project Outline	The objective of the Project is to increase the trans- Road No.5 which connects Phnom Penh Capital and new bypass, thereby contributing to economic dev
Category	A
Reason of Categorization	The project falls into the road sector under the
Latest Result of Monitoring	Result of Monitoring (PDF/235KB)
Past Results of Monitoring	-

“ Latest Result of Monitoring”
“Past Results of Monitoring”
 という項目を新たに追加。
 ここに最新及び過去のモニタリ
 ング結果を掲載。

スコ어링マトリクスの記載方法

2019年7月1日

独立行政法人 国際協力機構

審査部

環境社会配慮審査課

背景

2018年10月全体会合（10/5）で頂いたご意見

①一般的にはスコーピングマトリクスでA、B、Cの様な影響程度に応じた区別は行っておらず、負の影響が想定されるか否かの2択でスコーピングを行うのではない。

②民間事業や日本のEIA制度では、正の影響評価は行っておらず、正の影響がスコーピングに含まれると分かりにくい

これを受けて他国（特に協力事業の主要な相手国）や国際機関の事例について情報を収集

現行のスコーピングマトリクス記載方法

ガイドライン運用面の見直し結果 第5回ワーキンググループ検討分より

分類		影響項目	評価		評価理由
			工事中	供用時	
汚染対策	1	大気汚染	B+	C/B+	工事中に発生する影響は「工事中」で、供用時に発生する影響は「供用時」の欄で評価する。 住民移転のように、工事前に発生する影響については「工事中」の欄で評価するとともに、「評価理由」の欄でその旨、注記する。 工事中に発生して供用後も影響が長く続く場合はその旨を注記し、供用後も緩和策・モニタリングの実施を検討する。 既存施設の解体・廃棄が事業に含まれる場合、「工事中」の欄で想定される影響を評価する。
	2	水質汚濁	B+	B+	工事に伴う水質汚濁等による影響は「工事中」で評価する。 降雨時の路面上の粉塵や油の流出が想定される。
	3	廃棄物	B+	D	工事中：建設残土や廃材の発生が想定される。 供用時：周辺環境に影響を及ぼすような廃棄物の発生は想定されない。
	4	騒音・振動	B+	C	工事中に発生する影響は「工事中」で、供用時に発生する影響は「供用時」の欄で評価する。 評価例： A+/-（重大な正（+）もしくは負（-）の影響がある） B+/-（一定程度の正（+）もしくは負（-）の影響がある） C（影響の有無が不明である） D（影響は想定されない） 緩和策の実施を前提としない。

ガイドライン別紙5
「チェックリストにおける分類・チェック項目」を原則使用。
ただし、セクター及びプロ

JICA のスコーピング手法検討の経緯

1985, 86年	経済協力開発機構（OECD）の環境アセスメントの実施に関する理事会勧告
1988年	JICA 分野別（環境）研究会の提言を受けて、主要セクターにおける環境社会配慮ガイドラインを作成を開始
1990年	執務参考資料「JICA ダム建設計画に係る環境インパクト調査に関するガイドライン」を作成 - 事業の実施に伴い発生することが予測される全ての環境項目を網羅する必要がある、それにはチェックリストが理解し易く、方法としては有効なものと考えられる - 環境インパクトの対象は、基本的に現況の環境に与えるマイナスの影響とする - 評価の区分は、A（重大なインパクトがある）、B（中程度のインパクトがある）、C（小程度のインパクトがある）、D（不明、ただし検討する必要あり、調査が進むにつれて明らかになる場合も十分考慮にしておくもとする）、×（環境インパクト調査の対象としない）の5段階に分ける 出典：「JICA ダム建設計画に係る環境インパクト調査に関するガイドライン」
1992年	「社会・経済インフラ整備計画に係る環境配慮ガイドライン」作成 スコーピング手法はダム建設計画と共通
1993年	「JICA 鉱工業開発調査に係る環境配慮ガイドライン 鉱業開発編」、 「同火力発電編」（どちらも執務マニュアル）を作成 スコーピング手法はダム建設計画と共通
1997年	環境影響評価法制定

- 中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価方法書 静岡県

5
國際協力機構

他国の事例

【アメリカ合衆国】

- National Environmental Policy Act (NEPA) では、スコーピングにおけるマトリクスの作成、及び各項目のスコアリングは求められていない。
- 正の影響は、スコーピングで必要と判断された場合、評価対象となる。
- スコーピング段階のステークホルダー協議（Public Scoping Meeting）では、アセスメントの対象とすべき項目が箇条書きで示され、それを基にステークホルダーとのコミュニケーションが行われていることが確認された。出典：NOTICE OF INTENT TO PREPARE AN ENVIRONMENTAL IMPACT STATEMENT FOR THE PLANNED RIO GRANDE LNG PROJECT AND RIO BRAVO PIPELINE PROJECT, REQUEST FOR COMMENTS ON ENVIRONMENTAL ISSUES, AND NOTICE OF PUBLIC SCOPING MEETING

Currently Identified Environmental Issues

We have already identified several issues that we think deserve attention based on a preliminary review of the planned facilities, comments received by the public to date, and the environmental information provided by RG Developers. This preliminary list of issues may change based on your comments and our analysis.

- public health and safety;
- air quality;
- special status species, including the ocelot and aplomado falcon;
- biological diversity and wildlife preserves, including the Laguna Atascosa National Wildlife Refuge, and the Lower Rio Grande Valley National Wildlife Refuge;
- impacts on vegetation and habitat, including wetlands;
- economic impacts on fishing and tourism industries;
- environmental justice;
- visual impacts of the Terminal; and
- cumulative effects, including the effects of multiple planned LNG projects along the Brownsville Ship Channel.

他国の事例

【フィリピン】

- 環境天然資源省 Philippine Environmental Impact Statement System (PEISS)では、スコーピングマトリクスの作成及び各項目のスコアリングは求められていない。
- 運用上、スコーピング時に正の影響が想定されれば、EIAに記載されることはあるが、必須ではない。

● 【インド】

- 根拠法 EIA Notificationには、スコーピングにおける各項目のスコアリングについて、規定はない。
- EIA Notificationによれば、スコーピングの対象はenvironmental concernsと書かれているため、負の影響を対象としていると考えられる。

他国の事例

【インドネシア】

- 根拠法：Environmental Protection and Management Law、No. 32 of 2009
- チェックリストを基に、影響が想定される項目にチェックをつける。
- 正の影響については、影響評価に含まれる場合がある。

CHAPTER II - SCOPING

Table 2.144. Matrix of Potential Impact

No	Environment Component	Component Activity												Note	
		Pre-Construction Phase	Construction Phase						Operational Phase						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A. Physic – Chemical															
1	Decreasing of Air Quality (TSP and Exhaust Gas)			X			X	X		X	X		X	Pre – Construction Phase 1. Land Acquisition	
2	Increasing of Noise Level			X			X	X			X		X		
3	Decreasing of Surface Water Quality						X								
B. Hydrology															
1	Increasing of Run Off Water						X	X			X		X	Construction Phase 2. Mobilization of Workers and Operational Basecamp 3. Mobilization of Heavy Equipment and Material 4. Reclamation and Marine Facility Construction 5. Dredging and Disposal 6. Outshore Facility Construction 7. Access Road Construction	
C. Oceanography															
1	Sedimentation									X					
2	Change of Shoreline									X				Operational Phase 8. Employment of Workers 9. Marine Facility Operational 10. Outshore Facility Operational 11. Maintenance of Basin and Shipping Lane 12. Operational Access Road	
3	Decreasing of Sea Water Quality		X		X	X	X			X	X	X			
D. Space, Land, and Transportation															
1	Land Conversion												X		
2	Land Traffic Disruption			X									X		
3	Marine Traffic Disruption			X						X					
4	Road Damage			X									X		
E. Biology															
1	Disturbance of Marine Life (Nekton and Benthos)				X	X				X		X			
2	Disturbance of Terrestrial Fauna (Bird)						X				X				
3	Disturbance of Terrestrial Flora						X								
F. Social, Economic, and Culture															
1	Opened Employment and Business Opportunities			X					X						
2	Loss of Land Productivity	X													
3	Change of Fishing Ground				X					X					
4	Loss of Livelihood and Income	X													
5	Social Unrest	X			X	X	X	X		X	X		X		
G. Public Health															
1	Incidence of Communicable Diseases			X						X					
2	Pile of Waste									X					

他国の事例

【ベトナム】

- 根拠法: Law on Environmental Protection(55/2014/QH13)、2014
- スコーピング時は、右のマトリックスに、影響の有無を○、×で示すことが多い
- 環境保護法では、影響評価を行う目的として、環境と人間への悪影響を最終化し、事業の持続的な発展を可能にすることを挙げている。

Phase	Activities	Schedule	Technology/ Method	Environmental factors likely to occur
1	2	3	4	5
Preparation				
Construction				
Operation				
Other phase (if any)				

出典 : Circular on Strategic Environmental Assessment, Environmental Impact Assessment and Environmental Protection Plans

世銀 / ADB

- スコーピング時にマトリクスは用いられていない。
- 正の影響評価が行われている事例があることが確認された。

出典：Myanmar, Ayeyarwady Integrated River Basin Management Project, Environmental and Social Impact Assessment Report with Environmental and Social Management Plan, March 2018

Scale for evaluation of impacts' significance

+2	Significant positive
+1	Moderate impact
0	No or negligible impact
-1	Moderate negative
-2	Significant negative
?	Uncertain

M+	Mitigation available / no significant residual impact expected
M-	Mitigation not available/ significant residual impact expected
[i]	Impact not likely or certain
[x]	Impact unlikely or under extreme circumstances

Potential impacts						
	Project components and phase	Biodiversity/fisheries	Social/livelihoods	Water quality	Hydrology Geomorphology	Other concerns
Preparatory & construction phase	Construction materials (sourcing)	0	+1/0	0	0	No hardwood use envisaged.
	Preliminary estimated size of three sites combined: Cca 23,660 porcupines Cca 322,000 m ² Cca 20,347 ton of hard rock for bank protection		?	Waste waters volume not significant	No impact expected	
	Concrete beams/porcupines components will be either produced off site (probably in Mandalay), only assembling in situ OR, on-site production will be implemented		Employment opportunities	Risk of pollution and leaking of (contaminated) fluids into the environment/ groundwater, such as oil and grease.		

提案

- スコーピングマトリクスは、現地ステークホルダーとの協議に用いられることから、各地の環境当局の指示や通例を考慮の上、分かりやすく判断基準が明確な方法で作成されるべき。よって、各項目について、A, B, Cというスコアリングは廃止し、**アセスメントの対象項目のみに「✓」を付す方法とする。**
- **正の影響は、日本、協力相手国事業、世銀やADB等の国際機関では必ず行われているわけではないため、必須とはしない。ただし、事業効果に付随する正の影響が想定される場合、必要に応じてスコーピングマトリクスの「選定理由」欄に付記することとする。**

変更後のスコーピングマトリクス記載方法

分類		環境社会影響評価項目	選定状況		選定理由
			工事前 工事中	供用時	
汚染対策	1	大気汚染	✓	✓	工事中: 建設機材の稼動等に伴い、一時的ではあるが、大気質の悪化が想定される。 供用時: 交通量の増加の程度によっては、走行車両の排出ガスによる大気質への負の影響が見込まれる。一方、未舗装道路が舗装されることにより、粉塵等の影響が緩和される。
	2	水質汚濁	✓	✓	工事中: 工事現場、重機、車両及び工事宿舎からの排水等による水質汚濁の可能性がある。 供用時: 道路沿いの河川等への影響が生じるか判らないため調査対象とする。
	3	廃棄物	✓		工事中: 建設残土や廃材の発生が想定される。 供用時: 周辺環境に影響を及ぼすような廃棄物の発生は想定されない。

✓ありの場合、想定される影響の内容、または影響が生じるか判らないため調査対象として選定したことを記載。

✓なしの場合、影響が生じないと判断した理由を記載。

事業効果に付随する正の影響が想定される場合、必要に応じて本欄に記載する。